

047

「地元への恩返し」という思いを込めた
地域の防災拠点の構築

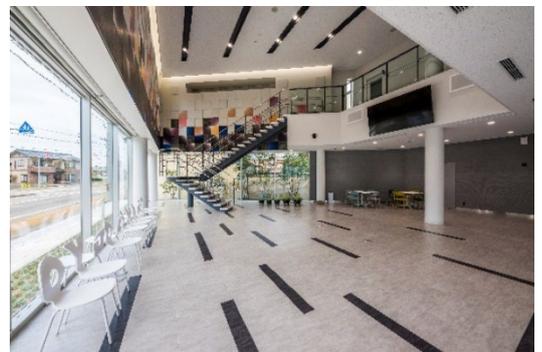
取組主体		
砺波工業株式会社		
従業員数	想定災害	実施地域
100人	全般	富山県

・自社の社屋を地域の防災拠点として活用し、地域の安全安心を守るため、自社の事業継続だけではなく、積極的な地域防災への貢献を果たす。

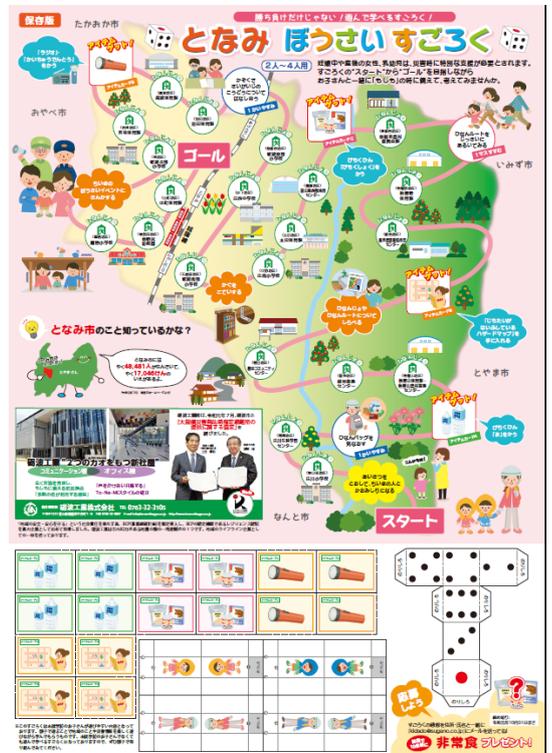
1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

地域への恩返しという思いを込めた社屋を、地域の防災拠点として活用する

- ・ 砺波工業株式会社は、地域の総合建設業として富山県砺波市に立地する。同社は、2019年7月16日に、砺波市と大規模災害時の指定避難所提供に関する協定を締結した。2019年9月7日には、協定締結後初の地域合同防災訓練を実施した。同訓練には、地元町内会から14名と社員25名の合計39名が訓練に参加した。その後も現在に至るまで、毎年継続的に実施している。
- ・ 本取組は、2019年5月17日に、創立75周年を記念し、本社機能を発祥の地である砺波市に新築移転したことを機に開始した。地域に恩返しするという思いを込めて建設した社屋のコミュニティ棟には、地域の方々も利用可能な共用スペースを設置している。各種イベントの開催や、災害時には一時避難場所としても利用できる施設である。そのため、耐震安全性はもとより、様々な非常時への備えを施した。災害対応型LPガスバルク供給システム・自立型GHP設備・LPガス対応非常用発電機・屋上高架水槽・汚水槽等を設置し、非常食(300食)や保存水(2リットル×120本)も常備している。
- ・ 2019年に砺波市と地震等の大規模災害時に社屋の一部を指定避難所として提供する旨の協定を締結したことをきっかけに、同年「となみ ぼうさいすごろく」を作成した。地域の子供達やその家族が、一緒に遊びながら防災について学んでもらえればとの思いが込められている。「となみ ぼうさいすごろく」は、砺波市内の幼稚園や保育所などに、子供向けのフリーペーパー（「Kids Do」）と一緒に配布されている。同じく、「Kids Do」の2019年9・10月号の15ページに、もしもの時に備えて、「パーソナルカード(*1)をつくらう！」を掲載。富山県内全域の幼稚園や保育園などに配布し、社外に向けて防災意識の高揚を図った。
- ・ 2017年10月に、BCPを策定・導入し、全社員を対象に説明会を実施した。情報が古くなってはいざという時に役に立たないので、毎年改訂を続けている。毎年防災の日（9月1日）周辺には、全社員を対象とした安否確認訓練を実施している。BCPを立ち上げてから毎年実施しているが、2020年からは、パソコンによる一斉メールから、全社員に支給しているスマートフォンを使ったグループLINEへと移行した。各人の安否状況を全員が確認できることが利点で、過去最速時間で全員の安否確認が完了した。



コミュニティ棟の様子



「となみ ぼうさいすごろく」

(*1)保険証番号や家族の連絡先など被災時に必要となる情報をまとめたカード

2 取組の平時における利活用の状況や効果

- ・ 本社では、砺波市と大規模災害時の一時避難所として地域の方々に社屋の一部を開放する旨の協定を締結しているため、毎年「防災の日」の周辺で、地域の方々を招待して、合同の防災訓練を行っている。令和4年度の防災訓練では、町内会員や、企業・学生等も参加し、AED 訓練、水消火器による消火訓練を実施した。継続的に開催するうちに、地域の一時避難所として認識されるようになった。また、地域の方々からの認知度や理解度も高まり、関係性が構築されている。さらに、新社屋効果は、社員の職場環境もさることながら、新卒者の採用にもプラスに働いている。



防災訓練の様子

3 現状の課題・今後の展開等

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により約3年間、社員の福利厚生も兼ねた、地域の方々を交えてのイベント等の開催を制限してきたが、今後は状況を見極めながら活動を再開する。
- ・ 地域建設企業として「地域の安全安心を守る」という社会的責任を果たすためにも、自社のみならず、公共機関や協力会社との連携を今まで以上に図り、「災害に強いまちづくりの構築」に貢献出来るよう、積極的に努めたい。

4 周囲の声

- ・ なかなか自分達だけでは開催出来ない防災訓練に招待して頂き、AED 訓練等の貴重な経験をさせてもらい、また、万が一の際に、避難させてもらえる丈夫な建物が近くにあるのは、近所には高齢者も多いので、大変ありがたい。(合同防災訓練に参加した町内会員)

担当者の声

- ・ “訓練に失敗はない”といいますが、訓練を行えば、必ず問題点が発生するので、それらを次に生かすことの方が重要で、実際にやってみなければ何も分かってきません。そのため、継続的に、計画・実行・点検・改善といった PDCA サイクルをしっかりと回していくことが、企業や社会の発展に繋がると考えます。

問合せ先	動画	サイト URL
砺波工業株式会社 法人番号：7230001008327 TEL：0763-32-3105 FAX：0763-32-3887 E-Mail：yabushita@tonamikogyo.co.jp	—	